

議事録

2025.5.18 記 高田

神奈川県剣道連盟 第2回幹部会議

日 時：令和7年5月8日（木） 13：00～16：25

場 所：県立武道館

出 席：野見山会長、佐藤副会長、吉村副会長、小山副会長、松原副会長、飛知和副会長、
高野副会長、伊藤専務理事

事務局：中島事務局長、高田副事務局長

欠 席：上野副会長

1. 開 会

議事進行：伊藤専務理事

2. 会長挨拶

3. 議 題

【協議事項】

(1) 滋賀県国スポチームとの練習試合について

- ・メール決済の結果了承されている。5月17日、18日実施。
- ・審判、選手とも交通費（3,000円）のみ支給。
- ・懇親会は、滋賀県から7名、神奈川県から4名出席で、費用は自己負担とする。

→ 承認

(2) 剣道指導者育成東西研修会(東日本)派遣について

- ・受講資格の該当者に打診しているが、現在のところ未定。引き続き派遣者を検討。

(3) 第62回中堅剣士講習会派遣について

- ・茅ヶ崎市の木村義先生を派遣する。

→ 承認

(4) 剣道審判法東西研修会(東日本)派遣について

- ・鈴木雅彦先生、笹木春光先生、鈴木順也先生、立迫明美先生、和田花子先生、早津理恵先生の6名を派遣する。

→ 承認

【検討事項】

(1) 第42回剣道八段受審者研修会の講師等について 資料 1

(2) 審査委員会委員（地区担当）は委員として事務局への来局場合、日当・交通費支給

(3) 剣道形刃引き点検修理謝礼 謝金と交通費を支払う。

(4) 連盟旗の作成について 資料 2

「神奈川県剣道連盟」→「一般社団法人 神奈川県剣道連盟」

- ・県立武道館の掲示用として、1枚だけ作成する。
 - ・今後、一般社団法人から公益社団法人にするか否かの結論が出てから、支部に配布することとする。
- (5) 県下大会剣道形演武者の選定について (東西対抗、シニアフェスタ、剣道祭)
- ・剣道形の演武を直前(1カ月程度)に依頼するのは、演武者にとっては厳しい面があるので、少なくとも半年前には決めておく。
- (6) 女子大会の年齢制限・表彰対象者について
- ・県女子剣道大会の1部の年齢制限は「30歳未満(高校生・大学生を除く)」となっているが、来年度から、「20歳以上30歳未満」とし、大学生も参加可とする。
 - ・表彰対象者は、参加者が8名以上の場合は、1位・2位・3位(2名)とする。参加者が7名以下の場合は、1位・2位のみの表彰とする。
- (7) 第71回全日本東西対抗試合出場選手の推薦について 資料 3
- ・資料3の県警からの推薦に加え、教員の前川勝先生、笹木春光先生、月岡陽輔先生、一般の原敏之先生、千葉啓伸先生、女性の堀佳奈美先生と大塚真由美先生に打診し、推薦者を決定する。
- (8) 事務局就業規則の作成について 資料 4
- 事務局の就業規則の整備が必要となっている。専門家(有償)と相談の上、作成する。
- (9) 四・五段審査の受審順について
- ・全剣連の審査と同じ様に、まんべんなく全会場で高齢者から審査を行うこととする。
- (10) 三段審査について
- ・受審者が前段合格日を間違えて1年早く記載して、受審。その後、判明。本人、家族了承の上、合格は取り消し、受審料・登録料は返金することとする。

以上検討のうえ、全て承認された

【報告・確認事項】

(1) 神奈川問題について

〈野見山会長〉

- A 監事について、約束通りすでに405万円が重富弁護士指定の銀行口座に振り込まれ、返済された。今後とも円滑に話合いがすすむと考えている。
- B 監事は交渉中。
- C 監事は交渉拒絶されており、提訴予定。
- D 元会長代理人が支払い義務の存在が無いと提訴された。こちらは提訴状の到着を待っている状況。(令和7年5月20日11時現在未着)

(2) 令和7年度スポーツ庁委託事業について

- 「令和の日本型学校体育構築支援事業③多様な武道等指導の充実及び支援体制の強化」
- ・コーディネータに飛知和先生と中島一憲先生、指導充実・資質向上講習会講師に中村隆一先生と葛西智明先生を登録・推薦する。

(3) 県立武道館事業・出張武道体験教室について

- ・武道体験教室の講師として磯子区の十川英一先生に引き続きお願いした。

(4) 関東七県対抗剣道大会（於 神奈川県立武道館）について

- ・開催日程は7月19日と20日。（19日：審判・監督会議、20日：試合）
- ・大会の参加者は約102名（役員、監督、選手）。
- ・神奈川県Aチームの監督は宮崎正裕先生、神奈川県Bチームの監督は有馬裕史先生。
- ・6月19日に県立武道館会議室で関東七県協議会(抽選会、大会説明)を開催予定。

(5) 将来構想剣道人口検討部会について

- ・今回は4月26日の土曜日にかながわ県民センターで開催した。
- ・ことは、中学校部活動、ひいては中体連の活動に対する影響は非常に甚大、今後とも精力的に対応していく。

(6) 監査日程について

- ・会計監査を5月23日(金)10時から県剣連事務所で行う。出席は野見山会長、伊藤専務理事、中島事務局長、勝又税理士、滝澤監事、吉野監事、事務局員。

(7) 神奈川武道会総会について

- ・野見山会長が出席。神奈川県は日本武道館を頂点とする武道協議会と日本拳法を加えた武道会総会とを並列で運営していく。

(8) ジュニア強化補助金決定通知について 資料 5

- ・県スポーツ協会から補助金交付決定通知があり、ジュニア選手強化事業に昨年と同額の補助金額58万円の交付が決定した。

(9) 令和7年度競技団体補助金等監査の実施について 資料 6

- ・剣道は6月19日に県スポーツ協会の監査が実施される。

(10) 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等表彰の推薦依頼について 資料 7

- ・推薦できるよう方があれば推薦したい。

(11) 令和7年度第1回競技力向上課会議の開催について 資料 8

- ・有馬裕史強化委員長が出席する。

(12) 第37回全国健康福祉祭ぎふ大会選手決定について 資料 9

- ・神奈川県代表選手は昨年より神奈川県連（強化委員会）が選出することになっており、今年は資料9に記載のとおり神奈川県代表選手が決定した。

(13) 法人設立記念式典の収支報告について 資料 10

- ・資料 10 に基づいて収支を報告。
- ・総費用は 130 万 3080 円で、出席者負担が 5000 円×139 人で 69 万 5000 円、ご祝儀を差し引いた 55 万 3080 円が連盟の負担となる。

(14) 令和 7 年度全国都道府県事務局長会議について 資料 11

- ・全日本選手権の男女同時開催は好評であったが、両方あるとちょっと見づらいという意見もあり、今後も工夫しながら継続していく。
- ・世界大会は完全優勝してよかった。次回開催が令和 9 年 5 月で日本開催。他の国が手を挙げなかったので、日本で開催ということになった。
- ・世界大会のピンバッジを 800 円で購入してください。
- ・アジア剣道連盟を発足させ、令和 8 年 5 月にアジア大会を開催する。
- ・講習会のうち、指導法、試合・審判法のブロック講習会を東西に再編する
- ・後援講習会を復活させる。
- ・財務関係では 1200 万円の赤字。世界選手権の関係で赤字が出るところだが、帳尻は合う予定。今後は、普及にお金をかけたい。
- ・コンプライアンスの徹底。不祥事はいつまで経ってもなくなる。その原因としては、昔の感覚が抜けない人が多いということと内輪もめ。そういうことで普及に影響がでて、社会がそのスポーツを敬遠し、競技人口の減少につながり、資金面が逼迫することになる。
- ・ハラスメントで剣道をやめる人が多くなる。
- ・剣道人口は 20 年前に比べて 53.4 パーセント減少しているということで、剣道人口増プロジェクトチームを作った。
- ・世界大会応援クラブにも協力をお願いする。
- ・茨城県で「剣道における健康安全ガイド」を作成した。よければ参考にしてほしい。

【大会・講習会予定】

(1) 第 17 回県女子剣道大会について

- ・5 月 10 日（土）（於：県立武道館）午前開催、参加者：97 名（前年 88 名）

(2) 第 17 回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会県予選会について

- ・5 月 10 日（土）（於：県立武道館）午後開催、参加者：32 名（前年 30 名）

(3) 第 79 回国民スポーツ大会剣道競技県予選会について

- ・5 月 24 日（土）（於：県立武道館）開催、参加者：130 名（前年 120 名）

(4) 第 17 回女子剣道指導法講習会について

- ・5 月 24 日（土）～25 日（日）（於：静岡県剣道連盟道場「養浩館」）開催、参加者：2 名
松嶋敏子（磯子区）・立迫明美（相模原）

(5) 剣道四・五段審査会について

- ・5 月 25 日（日）（於：県立武道館）開催、受審者数：四段 101 名、五段 113 名、前回：四段 122 名、五段 122 名、前年同期：四段 131 名、五段 95 名

(6) 第42回剣道八段受審者研修会について

- ・令和7年6月28日（於：県立武道館）開催、申込締切日：5月30日（金）

(7) 剣道（審判法）講習会の開催について 資料12

- ・7月12日（土）（於：県立武道館）開催、申込締切日：6月13日（金）

【大会結果】

① 第23回全日本選抜剣道八段優勝大会

- ・宮崎史裕選手が3位、今里学選手は2回戦敗退

② 第73回全日本都道府県対抗剣道優勝大会

- ・神奈川県 ベスト8、優秀選手 北条 将臣

③ 第72回関東高校剣道大会神奈川県予選

- ・上位4名は6月6日（金）～8日（日）茨城県神栖市（かすみ防災アリーナ）で行われる関東高等学校剣道大会に出場。

【審査会結果】

① 剣道審査会合格者

- ・剣道六段：4名合格・剣道七段：2名合格
- ・剣道範士を根岸陸夫先生、吉村哲夫先生が授与された。

② 杖道審査会合格者

- ・杖道範士を神之蘭文男先生が授与された。

4.その他

- (1) 「法人格のない任意団体」と「一般社団法人」の違い

資料13

- (2) 国スポの監督資格について

- (3) 範士お祝い会について

- (4) 国スポ予選会（少年男女）へ指定審判員の派遣について

- (5) 配慮を要する受審者の審査について

- ・三段以下の審査で配慮を要する受審者につき、今回は一般の受審者と異なるやり方で実施したが、実情を知らない人を見ると疑問に思うことがあるので、このような場合は要項に審査方法を載せる方向で検討する。

※次回の幹部会議は、6月5日（木）13時～ 県立武道館

※社員総会は、6月12日（木） 18時30分～ かながわ県民センター

5. 閉 会